

自然環境保全部活動報告書

活動日	2026/5/31	天候	曇り	活動時間	09:30～12:00
メンバー	富田 健斗,大谷 理貴			報告者	大谷 理貴
目的	生物調査 および ビオトープ管理				
時間	場所	活動内容			
9:30～12:00	田無神社龍神池	【作業内容】 ・龍神池の写真撮影 ・植栽(コムラサキ等)の剪定 ・生物調査 ・外来種(植物)の駆除 ・池内の枯葉の除去 ・植栽木の枯葉の除去 ・藻の除去			
		【生物調査の詳細】 ・ビオトープ創出時に導入した生物も含め、生息・生育状況の調査を実施。 ・見つかった生き物については、折を見て参拝客に向けた簡単な解説を行った。 ・モツゴは多くの稚魚が確認され、深場を泳いでいる姿が見られた。 ・セキショウの花穂を確認した。 ・水面上でコセアカアメンボを確認した。 ・深場で複数のヒメタニシを確認した。 ・深場脇でミギワバエ科の一種(湿地性昆虫)を確認した。 ・オオシオカラトンボが産卵しているのを確認した。 ・浅場にてシオカラトンボ属のヤゴおよび抜け殻を確認した。 ・クロイトトンボの成虫および多数のヤゴを確認した。 ・深場にて多数のアイノコイトモを確認した。 ・昨年に引き続き、浅瀬にてシャジクモ(東京都RDB2023:絶滅危惧IB類(EN))を多数確認した。 ・過年度から継続して発芽している外来種のメリケンガヤツリを今回も確認したため、抜根を行った。			
		【その他】 ・今回は土日に実施したため、親子の参拝客も多かった。そうした方々に向けて生き物の解説も行えたため、ビオトープについての普及啓発をすることができた。			



No.1

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前のビオトープの様子。



No.2

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前のビオトープの様子。



No.3

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前のビオトープの様子。



No.4

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前の池内。
高温のためか藻の発生が著しい。



No.5

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前の植栽(コムラサキ)。
枝葉が伸びて龍神様の像が埋もれてしまっている。



No.6

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

モツゴ。
深場で今年生まれと思われる稚魚が多数確認された。



No.7

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

池のほとりで見つかったシオカラトンボ属の抜け殻。ヤゴも見つかっている。



No.8

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

クロイトトンボ。成虫とヤゴがともに確認できた。



No.9

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

水面上で多数確認したコセアカメンボ。



No.10

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場で複数確認したヒメタニシ。



No.11

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場で見られたミギワバエ科の一種。体色と環境から、おそらくニノミヤトビクチミギワバエと考えられる。湿地性の昆虫で、成虫は藻類を食べる。



No.12

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

モノアラガイ科の一種。浅場など各所で多くの個体が見つかった。



No.13

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

昨年に続き、浅場で多数確認されたシャジクモ(東京都RDB2023:絶滅危惧IB類(EN))。



No.14

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場でコナギと思われる植物の発芽が確認された。



No.15

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場で多数確認されたアイノコイトモ。□

-
-
-
-
-
-
-
-



No.16

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場で多く見られたウキクサ。



No.17

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

ビオトープ脇で確認されたオオスズメノカタビラ。



No.18

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

ビオトープ脇で確認されたアオスゲ。



No.19

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

外来種メリケンガヤツリの発芽が確認された。毎年抜根を行っているが、継続的に発芽している。今回も抜根を行った。



No.20

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

剪定した植栽(コムラサキ)。



No.21

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

植栽剪定後の様子。龍神様の像がよく見えるようになった。



No.22

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業風景。濾過槽のフィルター交換を行った。



No.23

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

濾過槽内にあった交換後のフィルター。



No.24

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

調査風景。



No.25

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

調査の合間、参拝客に向けて生き物についての解説を行っているところ。今回は親子の参拝客も多く、ビオトープについて普及啓発をすることができた。



No.26

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後の浅場の様子。



No.27

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後の深場の様子。



No.28

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後のビオトープの様子。石についていた藻はブラシを使用して除去了。



No.29

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後のビオトープの様子。



No.30

2026年5月31日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後のビオトープの様子。

田無神社 龍神池 確認生物リスト

分類	種名	レア度 ※別表1	経緯 ※別表2	希少性 ※別表3		外来種	備考	確認記録 ※注						
				環境省	東京都 北多摩			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年
両生類	トウキョウダルマガエル	SR	導入	NT	OR			○	○		○			
	ヤマアカガエル	SR	放流		EN				○					
	アカガエル類	-	放流							○				
	ヒキガエル類の幼生	-	放流							○	○			
爬虫類	ニホンアマガエル	SR	導入		VU			○						
	ヒバカリ	SR	自然		VU		目撃情報に基づく。			△		△		
魚類	ミナミメダカ	SR	導入	VU	OR+EN			○	○	-				
	品種メダカ	外	遺棄・放流			○				○				
	モツゴ	A	導入				今年生まれの稚魚を多数確認。				○	○	○	○
貝類	ヒメタニシ	A	導入				深場で数個体確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	イシマキガイ	A	非意図的導入					○						
	モノアラガイ科の一種	外	非意図的導入			○	浅場、浅付近で複数個体確認し、駆除を行った。				○	○	○	○
	サカマキガイ	外	非意図的導入			○		○	○	○	○	○	○	
昆虫類	コセアカアメンボ	A	自然発生				成虫および幼虫を確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメアメンボ	A	自然発生						○					
	ホルバートケシカタビロアメンボ	A	自然発生						○		○	○	○	○
	クサガカメムシ	A	自然発生								○			
	チャバネアオカメムシ	A	自然発生									○		○
	テントウムシ科の一種	B	自然発生										○	
	ムーアシロホシテントウ	A	自然発生									○		
	シロジウシホシテントウ	B	自然発生							○		○		
	ナミテントウ	B	自然発生						○			○		○
	マメコガネ	B	自然発生						○					
	ニホンミツバチ	A	自然発生					○	○		○	○		
	ミツバチ科の一種	B	自然発生											○
	ヒメスズメバチ	A	自然発生							○		○		
	ハムシドロバチの一種	B	自然発生								○			
	クロスジギンヤンマ	A	自然発生					○	○	○	○	○	○	○
	ハグロトンボ	A	非意図的導入					○						
	クロイトトンボ	A	自然発生					○	○	○	○	○	○	
	アジイトトンボ	A	自然発生									○		
	イトトンボ科の幼虫	A	自然発生							○				
	オオシオカラトンボ	A	自然発生				浅場で数個体確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	シオカラトンボ	A	自然発生						○	○	○	○	○	○
	トンボ科の幼虫	A	自然発生				浅場および深場で多数のシオカラトンボ属の幼虫を確認した。		○	○	○	○	○	○
	イチモンジセセリ	A	自然発生							○		○		
	ヨスジノメイガ	B	自然発生										○	
	ミギワバエ科の1種	A	自然発生				おそらくニノミヤトビクチミギワバエと考えられる。					○		
	ホソヒラタアブ	B	自然発生					○						
	トウキョウヒメハナムシ	A	自然発生								○			
	カゲロウ目の一種	A	自然発生										○	
	コカゲロウ属の一種	B	自然発生						○		○			
	ユスリカ科の一種	B	自然発生						○	○	○	○		
	ヒトスジシマカ	B	自然発生					○	○	○	○	○		
その他動物	インビル科の一種	B	非意図的導入						○	○	○	○		○
	メリケンガヤツリ	外	非意図的導入			○	深場盤で確認した。抜根済み。			○	○	○	○	○
植物	アオスゲ	A	土壌由来？				浅場盤で確認した。						○	○
	セキショウ	A	導入					○	○	○	○	○	○	○
	コナギ	A	導入				浅場にてコナギと思われる植物の発芽を確認した。	○		○	○	○	○	○
	アイノコイトモ	SR or R	導入				深場で多数確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ウキヤガラ	SR or R	導入		VU			○	○					
	ミゾソバ	A	導入				ビオトープ全体で確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	アゼナ	A	土壌由来					○						
	推定ミズハコベ	SR	発芽		EN(北多摩)							○		
	ウキクサ	B	土壌由来				多数の株を確認した。	○	○	○	○			○
	シャジクモ	SR	発芽	VU	VU(本土部)		浅場で多数の株を確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ヘビイチゴ	B	土壌由来						○	○	○	○		
	スズメノカタビラ	B	自然発生										○	
	オオスズメノカタビラ	外	自然発生			○	ビオトープ内で複数確認した。						○	○
	ダンドボロギク	外	自然発生			○				○	○	○		○
	アメリカタカサブロウ	外	土壌由来			○		○	○	○				○
	ハハコグサ	B	自然発生										○	
	セイヨウタンポポ	外	自然発生			○							○	
	アイオニタビラコ(交雑種)	B	自然発生										○	○
	オオカナダモ	外	遺棄・放流			○		○						

※確認記録 ○:調査で確認、△:聞き取り等で確認

別表1 レア度について

カテゴリ	表記	基準	一例
スーパーレア	SR	環境省または東京都のレッドリストVU以上	オオタカ、フクロウ、ニホンカナヘビ、アズマヒキガエル
レア	R	環境省または東京都のレッドリストNT、DD、留意種など	ニホンアナグマ、アオダイショウ、ヤマトタマムシ
良	A	京都野台地らしさ。純木林や用水、田畑、湿地等に特化して生息するもの。レアではないがいてほしい生きもの。	ヒメタニシ、アオモンイトトンボ、カブトムシ
普通	B	普通種。都市や道ばたなどでも見られる生きもの。	オンブバッタ、キタキチョウ、ヒトスジシマカ、スズメ、ハクセキレイ
外来種	外	外来種	ガビチョウ、アメリカザリガニ、アカボシゴマダラ

別表2 経緯について

導入	ビオトープの質の向上等を目的に、意図的に導入した生物
非意図的導入	土や水車などの移殖に伴い、意図せずに入ってきた生物
発芽	ビオトープに導入した土壌から種子が発芽したもの
自然飛来	ビオトープ創出後に周辺から自力で移動してきた生物
遺棄・放流	飼育されていたペットや園芸種などが捨てられたり、放流されたりしたもの

別表3 希少性の表記について

表記	カテゴリ名称	基本概念
EX	絶滅	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育・栽培下も含めすでに絶滅したと考えられるもの
GR	絶滅危惧ⅠA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
EN	絶滅危惧ⅠB類	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
GR-EN	絶滅危惧Ⅰ類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
VU	絶滅危惧Ⅱ類	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
NT	準絶滅危惧	現時点での絶滅危険性は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧Ⅱ類」として上位ランクに移行する要素を有するもの
DD	情報不足	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリに移行し得る属性を有しているが、生育・生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
-	非分布	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの